

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 398 号	氏名	高 園 貴 弘
学位審査委員	主 査 上 平 憲 副 査 大 園 惠 幸 副 査 川 上 純		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、難治性の侵襲性アスペルギルス症（IPA）について、そのモデルマウスを作製しドラッグデリバリーの視点から治療成績の向上に寄与しようとするもので目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 免疫抑制マウスに MF13 conidia 5×10^6 にてモデルマウスを作製後、Lyposome-Amphotericin-B(L-AMB)の吸入投与と Micafungin(MCFG)の腹腔内投与方法の各種組み合わせ群で、生存期間や肺内生菌数の減少度の差で効果を評価する研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、吸入 L-AMB 併用は血中濃度が低いにも関わらず高い治療効果が得られたことはドラッグデリバリーの重要性を示したもので、今後の感染治療の進展に大いに寄与するものと期待される。</p> <p>以上のように本論文は感染治療学の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			